



Let's study English!

ベンジャミン先生の「エンジョイ☆イングリッシュ」の中から簡単な英語を紹介します。今回は「animals（動物）」です。おうちでぜひ使ってみてください。



ライオン
lion
(ライオン)

モンキー
monkey
(サル)



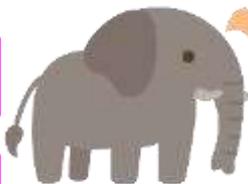
パンダ
panda
(パンダ)



ヒッポ
hippo
(カバ)



Theme of this month 《 animals 》



エレファント
elephant
(ゾウ)

ジブラ
zebra
(シマウマ)



ジュラフ
giraffe
(キリン)



ログさんちでは、毎月「エンジョイ☆イングリッシュ」を開催しています。簡単な単語を使った手遊びや童謡などを通して、楽しく英語にふれあうことができます。乳幼児期から参加してみませんか？

ほけんだより

誤嚥について

乳幼児が食べ物をのどに詰まらせ、亡くなる事故が後を絶ちません。子どもが安全に食事をするにはどうすればよいのでしょうか。

赤ちゃんに離乳食をあげていたお母さん。赤ちゃんが離乳食中期になったころ、やわらかくゆでてつぶしたサツマイモを食べさせたところ、突然のどに詰まらせ、声が出せなくなったので、急いでお茶を飲ませ大事には至らなかったが「十分に気を付けていたつもりだったのに詰まらせてしまい、怖いと思った」と話された。

消費者庁によると2014～19年に食品を誤嚥し窒息した14歳以下の子ども80人が亡くなった。そのうち5歳以下が73人で9割を占める。

誤嚥・窒息につながりやすい食べ物の形状や性質

どんな食べ物でも誤嚥・窒息の可能性はあるが、特に誤嚥、窒息につながりやすい食材は次のようなもの。

◆小さな子どもの誤嚥・窒息につながりやすい主な食べ物◆

弾力がある	かみ切りにくい	・ソーセージ ・きのこ
丸い	吸い込んで気道をふさぎやすい	・プチトマト ・豆類
粘着性が高い	唾液と混ざると飲み込みにくい	・餅 ・ごはん
硬い	かみ切りにくい	・貝類 ・えび ・いか
唾液を吸う	口の中でパサつきやすい	・パン ・ゆで卵 ・のり
口の中でばらばらになりやすい	まとまらず、飲み込みにくい	・ブロッコリー ・ひき肉
果物	硬さや切り方によっては詰まりやすい	・リンゴ ・梨



つまらせやすい食材を知り、加熱や小さくするなど工夫することが大切。座って食べていれば起きなかった事故はよくあるといい、歩き回ったり寝転がったりしないように注意しましょう。

参考出典

- ・朝日新聞（2023.7.7）
- ・内閣府：教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時のためのガイドライン